

ガルフCSM



飲食業 小売業 70,000店舗で稼働

DXでチェーン店を改革する AI店舗の王様

ガルフCSM

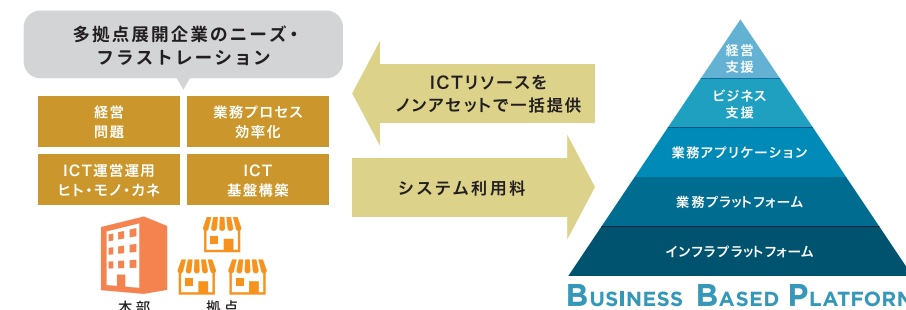


AIを活用して店舗業務を効率化！

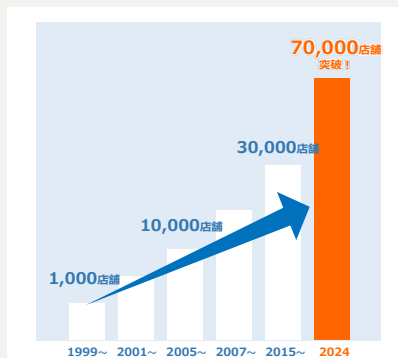
飲食業界を中心とするチェーンストアに経営支援ICTプラットフォームを提供する(株)ガルフネット。1994年の創業以来、30年にわたるノウハウを生かして提供するサービスが「ガルフCSM」だ。ガルフCSMは多店舗展開する企業の経営を支える業務システムで、予算、売上げ、商品、在庫、シフト、勤怠など、店舗マネジメント機能を網羅。AIプラットフォームを使用した予測機能など最新の技術をシステムに採り入れている。導入実績は現在1200社、7万店を超えており、チェーンストア特有の課題や問題解決に特化したシステムとして存在感を高めている。

最大の強みは、(株)ガルフネットのITプラットフォーム「Business Based Platform」だ。導入企業は基盤となるネットワークやクラウドだけでなく、ヘルプデスクや機器設定・設置などのビジネス支援まで一貫して利用できるため、(株)ガルフネットですべて解決することができる。また、シンガポール、タイを拠点とした海外への展開支援も行っている。ハードウェア、ソフトウェア、インフラ、サービスまで一括して提供する稀有な存在として、外食業界から厚い信頼を得ている。

ITオートメーション時代の企業経営を支える 総合業務ITプラットフォーム



ガルフCSM契約店舗数の推移



飲食、流通小売、サービス企業1200社70000店舗が導入。昨今の人手不足の対策としてDX化を進める企業が急増している。



人の勤や経験は差が出てしまうので、AIは経営を下支えする最適なツールです

（株）ガルフネット
開発執行部
部長
藤川 誠氏

「ガルフCSM」のサービスの注目すべき外食チェーン業務最適化DXが「AI売上予測」だ。外食チェーンでは、本部が店舗の年間、月間の売上予算を店舗側に伝え、店舗では日別の売上や客数の予測を立てている。その予測の来客数をもとに食材発注やシフト作成に多くの時間を費やしているケースがほとんど。しかし、店の責任者は天候やイベント、曜日ごとの客数変動、さらには昨今の原材料高騰など多くの不確定要素を加味して予測を立てなければならず、勘と経験に頼りにした人力での作業が困難を極めている。その要望に応えるために開発されたのがAI売上予測だ。

AI売上予測は過去2年分の店舗の売上実績データを学習モデルとして、天気予報、イベント情報、プロモーション施策を取り込むだけで、AIが自動で未来2〜4週の売上金額と客数、メニュー出数の合計値を予測。カレンダーの曜日区分別にも対応しており、食材ごとの納品日や在庫数を登録すると、発注量の自動算出まで反映される。さらに、売上げに影響を与えたパターンをAIが自動学習するディープラーニング機能を実装しており、予測算出後も毎日数値が更新される。客数予測をもとに適正な人員配置を予測できる機能も併せ持っており、実店舗ベースの予測精度は80〜90%以上と非常に高い点も特筆される。

スタッフの業務負担削減や、人件費の最適化、食材ロス・欠品の抑制につながるだけでなく、売上げの一見える化」によって現場が戦略的に動けるようになれば、作業効率と顧客満足度の向上が期待される。外食チェーンの新しい当り前を支える基盤として、今後欠かせないツールとなるだろう。

予測数値から現場のマネジメントをコントロール

